

20130926 士業ビジネス研究会_議事録

テーマ 明日から使える！ 公認会計士によるビジネス分析入門

～頭を柔らかくして、分析を学ぶ～

発表者 江黒崇史さん（清和監査法人パートナー、公認会計士）

日時 2013年9月26日 19時00分～20時50分

場所 東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

参加者 11人（会社員、FP、NPO法人理事長、
弁護士、社会保険労務士、司法書士、行政書士など）

1. 本日の目的

- ①頭を柔らかくする
- ②分析の視点を学ぶ
- ③実務に活かす

2. 要点

- ①Why?とSo What?の視点が大切
- ②好奇心を持つ
- ③複数の視点を持つ
- ④思い込みに縛られない
- ⑤仮説と検証を繰り返す

3. ケーススタディ

(1) 第1問、第2問、第3問

- ・ケースの比較が大切
- ・課題の分解が大切。たとえば、売上に影響する要素と原価に影響する要素を分解する

・明日から使えるビジネス用語3つ

- ①機会損失
- ②原価
- ③埋没原価

(2) 第4問、第5問

- ・明日から使えるビジネス公式「売上＝単価×販売量×リピート率（回転率）」
どの分野がキーかはビジネスによって異なる

どの要素で変動しているか？ 季節、一人当たり売上高、面積当たり売上高など。

- ・思考のコツ。柔軟に非常識に考える。売上げの要素を分解する。同業他者と比較する

(3) 第6問、第7問、第8問

- ・明日から使える企業分析9分野

ビジネス（事業）マーケットとキャピタル（資本）マーケット、また外部環境と内部環境にてマトリクスを構成

(4) 第9問、第10問

- ・明日から使える決算書2つの視点

垂直視点（時系列）と水平視点（競合他社との比較）

- ・明日から使える3つの目

鳥の目、魚の目、虫の目

(5) 第11問

- ・決算書分析の優先順位は安全性（財務上の。会社は継続することが大事）→収益性→成長性

- ・貸借対照表の基礎。右から資金が入ってきて、左にて資金を運用している

- ・安全性分析

①まずは流動比率（＝流動資産／流動負債）

②つぎに自己資本比率（＝純資産／資産）

(6) 第12問

- ・BSは現金製造機

借入・自己資本→固定資産→棚卸資産→現金という流れになっている

- ・BSは売上を使って分析

売上債権回転期間（売上があっても売掛金を回収しなければお金は入ってこない。回転しているかを分析）

(7) 第13問

- ・分析とは考えること、考えるためには質問すること

ビジネスと数字を観たら2つの質問をする。Why? と So What?

たとえば、「在庫が多い」。単に悪いと考えるのではなく、良いか悪いかを考える。中国自動車市場でのフォルクスワーゲンとトヨタの在庫比較

- ・その会社、そのビジネスで何が起きているのかを考えていないとその会社の本質は見えない
日常商品を見ながらでも日々考えることができる

4. まとめ

- ①Why?と So What?を身につける
- ②ビジネスを見る。視点を複数持つ
- ③分析は入り口。何度も考える

以上